

注目の新設校インタビュー

お話 八王子学園八王子中学校(認可申請中)

八王子高等学校 校長 佐藤 寛文 先生



編集部 よろしくお願いたします。八王子高校は83年の伝統を誇る高校ですが、中学校を開校しようとお考えになった理由は何でしょうか。

佐藤 八王子高校は1928年の創立で、当時は小学校を卒業してから入学する5年制の旧制中学校でした。戦後の学制改革でそれぞれ3年制の八王子中学校、八王子高校になりましたが、義務教育が戦前の小学校6年間から小中9年間に延長され、公立中学校が整備されてきたことから、中学校は廃止しています。しかし、私立の中高一貫教育は大きな成果をあげていることはわかっていましたので、いつか中学校を再開して、12歳からじっくり教育を行いたいと願っていました。

編集部 以前から構想があったわけですね。

佐藤 はい。高校生の人口が多かった時代には、なかなか高校の生徒数を減らして中学を開校するわけにはいきませんでした。大学進学実績が飛躍的に向上したこと、新校舎への建て替えも済んだことから、いよいよ来春の開校をめざして、準備することになりました。

編集部 八王子高校は、とてもニュートラルな教育観や教育理念の学校ですが、中学校も同じ教育観、教育理念に基づいた学校になるのでしょうか。

佐藤 本校は、創立者の市川英作先生を中心とする八王子市内の有志の方々が設立した学校です。当時から宗教団体や企業などのバックボーンになる団体を持たず、「人格を尊重し、平和を心につちかおう」を教育理念としてきました。この点は更に進展させたいと考えています。

編集部 中学校は、正式には「八王子学園八王子中学校」の名前になるのでしょうか。

佐藤 本当は旧称の八王子中学校だけにしたかったのですが、さいたま市に市立の八王子中学校がありますので、法人名の「八王子学園」を冠しました。高校も来春から、正式には「八王子学園八王子高等学校」に改称します。

編集部 中学校のクラス数はどうなっていますか。

佐藤 中学は1学年3クラス120名募集で認可を東京都に申請しています。中学生は高校に内部進学した際も、文理特進コース内部進学生クラスとして、高校入学の生徒とは別のカリキュラムで学習します。

編集部 6年間の基本的な流れをご説明ください。

佐藤 中1・中2の2年間をベーシックとして基礎学力の養成に重点を置き、この期間に中学内容の多くを学習します。中3・高1をプログレスとして本格的な高校範囲の学習に入り、高校内容をしっかり定着させます。高2はプログレスの最終段階として文系・理系に分かれて高校内容を修了し、高3はアドバンスとして大学入試対策を中心に学習します。

編集部 授業時間数はいかがですか。

佐藤 5教科の授業時間数を大幅に増やしています。各学年とも学習指導要領の標準時間数よりも週あたりほぼ1~2時間増やしています。特に中3の国語は標準が週3時間のところ7時間に増やしたり、中2の数学や中3・高1の英語も標準時間よりも週3時間増やしています。

編集部 時間数をたっぷりって先取りするわけですね。

佐藤 はい。この学びを支えるために、「CRP」

と呼ぶプログラムを実施します。單元ごとに予習・授業・復習・チェックテストを確実に実施していく流れのことで、チェックテストで習熟が不十分だと、リピート学習等で確実にフォローし、定着させるものです。また、中学生専用の自習室も設置し、中学生専門の担当チューターを配置します。この他、国数英では中1から10分間ドリルで基礎力をしっかり身につけていきます。

編集部 かなり学習時間が多くなるようですね。

佐藤 週6日、土曜日は午前中ですが、他の曜日は6時間しっかり勉強します。また、中3からは週2日7時間目授業も行います。また、夏休みには7月末と8月末に各6日間ずつ夏期授業を行い、学力を養成します。もちろん高3は大学入試対策です。

編集部 大学入試に向けて万全の体制を整えるわけですね。

佐藤 本校の文理特進コースは、設置以来の6年間で東大3名、東工大6名、東京外語大2名、筑波大2名など国公立80名、早稲田、慶應、上智、東京理科大に131名、医歯薬系90名の合格者を出してきました。しかし3年間では時間が足りないことは否定できません。中高一貫生は6年間指導できるので、東大合格者数2ケタと全員の国公立合格をめざします。

編集部 高い目標ですね。

佐藤 勘違いしていただきたくないのですが、東大合格そのものが目的なのではありません。国際的な競争社会で生き抜くには、自ら課題を発見し、解決する能力や発想力・企画力を身につけなければなりません。語学力・論理力・感性力を確立し、知的好奇心・探究心を育み、自分の力で解決する能力を身につけなければなりません。こうした力を身につけると、自ずと全員国公立合格や東大2ケタ合格が達成できます。

編集部 学力だけでなく生徒本人の意識も大きい要素だと思いますが。

佐藤 もちろんです。目標を諦めない精神的な強さが必要です。そしてその力は、現在の厳しい状況の日本で、世界で活躍できる力です。中高6年

間で精神力と体力を育成し、社会の厳しさを教えることが必要です。逆境の中でがんばれる人間に育てることが大人の責任だと思います。

編集部 かなりハードな学校生活に感じられます。

佐藤 本校での6年間は密度が濃いですから、ハードに感じられる部分はあるでしょう。ただ、強制しても生徒たちはついて来ません。生徒たちの内面から目標に挑戦しようとする気持ちが起きないと動かないでしょう。

編集部 その点ではどんな工夫を考えていますか。

佐藤 海外の方々と交流ですね。入学直後のオリエンテーション合宿では、日本で学ぶ留学生に夢を語ってもらいます。オーストラリアでの語学研修では1家庭1人のホームステイです。本校にはネイティブが8名いますので、少人数の英会話授業が可能です。しっかりコミュニケーション能力を身につけて送り出します。また、中国の北京景山中学や北京月壇中学、オーストラリアのジョンポールカレッジ、ドイツのヨハニッタースクールとは姉妹校ですから、積極的にいろいろな交流ができるようにします。海外の若者は、大きい夢を持っています。こうした夢と、それを実現するために努力する姿に、ナマで触れることで大いに刺激を受ける機会を作っていきます。

編集部 日本人とのふれあいではダメですか。

佐藤 最近の日本人は内向きですね。海外に留学する学生も減っていますし、安定志向です。姉妹校を訪問して痛感します。アジア・オセアニアの若者たちは大きな夢を持ち、努力をしています。授業参観させていただいたら、結構難しいことも勉強しています。このままでは追い越されて当たり前、そう感じます。だからこそ、海外の方からもっと刺激を受けて、大きな夢を描いてほしいのです。

編集部 今度は生活面についてうかがいます。校舎は高校生と一緒にですか。

佐藤 北側の校舎が中高一貫生徒用になります。連絡通路で高校生の校舎とつながっています。理

数重視の観点から、中学生の校舎に理科室も配置していますが、他の特別教室や体育館などは高校生と共用します。

編集部 クラブ活動はどのようなご方針ですか。

佐藤 本校は文武両道を目指しています。中学生が加入できるクラブ活動は体育系 17、文化系 21 のクラブがありますが、基本的には高校生のクラブにほぼ入れるように考えています。

編集部 体育系だと高校生とは体力が違う、コートなどの規格が違うなど、なかなか難しい面があるようですが。

佐藤 その通りですが、クラブ活動は異学年の生徒とのコミュニケーションを通じて社会性を学び、生涯の友に出会い、気力体力を身につけ、ストレスの発散の場でもあります。なるべく一緒に活動できるよう配慮し、無理な部分は別メニューで練習するなど、柔軟に対応します。



校舎全景

編集部 昼食はお弁当ですか。

佐藤 原則はお弁当ですが、食堂に頼めばホームルーム教室で食事することができます。

編集部 入試についてお聞かせください。

佐藤 現在のところ、2月1日午前、1日午後、2日午後、4日午前の4回の入試を検討しています。4回とも4教科で、国語・算数は各50分100点、理科・社会は計50分各50点、4回とも高得点の受験生は特待生として認定する、といった案が有力です。現在認可申請中なので、東京都の審査が

進んで募集開始の了解が得られるまでに正式に決定します。

編集部 出題方針はいかがでしょう。

佐藤 これも募集開始の了解が得られるまでに決定しますが、実力本位の入試にしたいと思っています。また、奇をてらった問題は出題するつもりはありません。しっかり勉強すれば確実に得点できる問題にしようと思っています。

編集部 話題は変わりますが、3月11日の地震の時、八王子高校ではいかがでしたか。

佐藤 揺れましたが幸い生徒にケガはなく、校舎も無事でした。ガラスの破損もありません。本校はすべて強化ガラスなので、万一割れても粒状になりますから安全です。結局、生徒20名が泊り込みましたが、非常食や飲料水の備蓄だけでなく、アルミ製寝袋やモバイルトイレもありますから、泊り込んでも安心です。また、緊急地震速報受信設備は導入済み、さらに安否確認情報システムも新規に導入します。

編集部 安否確認情報システムはどのようなものですか。

佐藤 改札口のようにタッチしなくても、校門を通過するたびに自動的に生徒の登下校を把握し、希望する家庭にはメールでお知らせするものです。この他、学校行事や災害対応による予定変更などを一斉配信する機能もあります。この他、防犯カメラ50台や授業中は部外者を校内に入れないロックシステムもあり、安心の環境です。

編集部 では最後に、受験生・保護者の皆さんにメッセージをお願いします。

佐藤 明るく元気な生徒、積極的に外の世界に出て行く勇気と実力を持った生徒を育てていきます。本校の6年間で自分を磨きたいと考えている皆さん、ぜひ挑戦してください。

編集部 ありがとうございました。

八王子学園中学校(認可申請中)

交通案内 JR中央線西八王子駅から徒歩5分

○ 説明会予定 6/24(金)A、7/17(日)B、8/27(土)B、10/6(木)A、11/26(土)C、12/18(日)C、1/14(土)A A・B・Cは時間帯 A:10時~11時30分のみ、B:10時~11時30分・14時~15時30分の2回、C:10時~11時30分・13時~14時30分・16時~17時30分の3回